学校番号	２０５

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	数学Ｂ　（啓林館）						
副教材等	マスグレードα　数学 B+C　（啓林館） 黄チャート　数学Ⅱ+B+C[ベクトル]　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して自ら考えたり、周りの人と協働して考えたりする活動を行います。
・「『課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決』の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・授業用ノート・問題集用ノート・参考書用ノートをそれぞれ別に用意してください。
問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。問題を解く力を養うには、「自分で考える時間をなるべく多くする」ことと、「自分の答案を振り返る」ことが大切です。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題は定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

２　学習の到達目標

【知識・技能】数列についての基本的な概念を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】数列について論理的、数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期	等差数列・等比数列	数列とその項 等差数列 等比数列	a:数列の定義，表記を理解し，用語，記号を適切に用いることができる。等差数列，等比数列について理解し，一般項やその和を求められる。 b:数の並び方から規則性を推定し，数列の一般項を考察できる。 c:数の並び方に興味をもち，その規則性を発見しようとする。	定期考査	定期考査	観察 レポート 考査やり直し 小テスト
	いろいろな数列	和の記号Σ 累乗の和 階差数列 数列の和と一般項 いろいろな数列の和	a:記号Σの意味と性質を理解し，数列の和が求められる。階差数列を利用し，数列の一般項を求められる。数列の和 S_n と第 n 項 a_n の関係を理解し，一般項を求められる。 b:数列の和を記号Σで表し，求められる。数列の規則性の発見に階差数列が利用できる。 c:自然数の 2 乗の和の公式の導出に興味をもち，高い次数の累乗の和の公式についても考察しようとする。数列の規則性を，隣接2項の差を用いて発見しようとする。			
3学期	漸化式と数学的帰納法	漸化式	a:漸化式から数列の特徴を考察し，一般項を求められる。 b:複雑な漸化式を変形し，既知の漸化式に帰着して考えることができる。 c:漸化式から一般項を導くことに関心をもつ。	定期考査	定期考査	観察 レポート 考査やり直し 小テスト
		数学的帰納法	a:数学的帰納法を用いて等式，不等式を証明できる。 b: 数学的帰納法の仕組みを理解し，自然数に関する命題の証明に適用できる。漸化式を用いて表される数列について，数学的帰納法を用いて考察できる。 c: 数学的帰納法を用いた証明に関心をもち，応用しようとする。			

	確率分布	確率変数と確率分布 確率変数の平均，分散，標準偏差 確率変数 aX＋b の平均，分散，標準偏差 確率変数の和・積の平均と和の分散	a:確率変数の期待値，分散，標準偏差などの意味を理解し，求められる。公式も利用できる。同時分布や確率変数の独立について理解している。 b:期待値，分散，標準偏差を用いて確率分布の特徴を考察できる。 c:期待値，分散に関する公式を，定義や既知の公式を用いて導こうとする。期待値，分散，標準偏差を用いて確率分布の傾向を把握しようとする。	定期考査	定期考査	観察 レポート 考査やり直し 小テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度